

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)厚木市森の里物流施設新築工事	階数	地上3F
建設地	神奈川県厚木市森の里紅葉台1-1	構造	RC造
用途地域	工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	110人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年9月 予定	評価の実施日	2024年12月12日
敷地面積	28,197 m ²	作成者	(株)フジター級建築士事務所
建築面積	8,043 m ²	確認日	2025年1月15日
延床面積	23,827 m ²	確認者	(株)フジター級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0

Q のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.9

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.9

LR のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	小田急小田原線・JR本厚木駅から車で15分の工業地域に3F・RC造一部S造の倉庫を計画した。	その他 特になし
Q1 室内環境	特になし	Q3 室外環境(敷地内) 周辺の街なみとの調和に配慮した色彩の素材、建材を使用し、周辺の街なみに配慮した建築物のデザインとなっている。
LR1 エネルギー	BPI=0.59、BEI=0.49	LR3 敷地外環境 燃焼機器の使用がなく、大気汚染物質を全く発生しない。光害対策ガイドラインのチェックリストを一部満たし、かつ、広告部照明の扱いの配慮事項の過半を満たしている。
Q2 サービス性能	給水管: PEP(B)、汚水排水: VP(B)、雑排水: VP(B)、C以上を使用。階高3.9m以上。壁長さ比率0.1未満。積載荷重: 4500N/m以上。	
LR2 資源・マテリアル	節水コマに加えて、節水型便器を採用。躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用している。再利用できるユニット部材であるフリーアクセスフロアも採用している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される